

10月予定の本格稼働に向けて

PCB廃棄物処理施設の 試運転を開始



安全・安心な操業を目指し、試運転を開始した北海道PCB廃棄物処理施設

施設の概要

- ◆事業主体 日本環境安全事業(株)
- ◆場所 仲町(敷地面積40,000㎡)
- ◆処理対象地域 北海道と東北・北関東・甲信越・北陸の15県
- ◆処理能力 1.8t/日(PCB油分解量)
- ◆処理対象物 トランス、コンデンサ、廃PCBなど

北海道と東北など15県分のPCB(ポリ塩化ビフェニル)を処理する北海道PCB廃棄物処理施設の建設が進んでいます。現在、10月予定の本格稼働に向け、設備機器の性能確認のための試運転を始めており、8月にはPCB廃棄物を使用する予定です。安全操業に向けた試運転の今後の予定についてお知らせします。

目的 安全安心な処理に 向けての準備

PCB廃棄物処理施設(以下「施設」)の処理システムなどの性能を確認し、安全安心な処理に向けた準備を行うほか、施設全体を稼働してPCB廃棄物が確実に無害化されることや大気等を測定して環境基準値を満たしているかなどを確認します。

概要 機器の調整や PCB廃棄物を使用した データ収集などを実施

3月～5月: 機器の調整運転
各装置や設備機器が確実に動作し、機能するかを確認。

5月～7月: PCBを使用しない試運転
PCBを使用しないトランス(変圧器)等で、実際のPCB廃棄物を処理する運転条件のもと、機器全体が健全に機能するかを確認。また、異常時に設備が安全・確実に緊急停止できるか、再起動できるかを確認。

8月～9月: PCBを使用した試運転
市内などに保管されているPCB廃棄物を使用し、次の3つの性能確認と必要なデータ収集を行います。

- ① 処理性能
PCB処理能力の確認
- ② 環境保全性能
排気、排水、臭気、騒音がすべての基準に適合しているかなどを確認
- ③ 作業環境性能

解体作業を行う施設内のPCB濃度が基準に適合しているかなどを確認

運搬 特別に許可を受けた業者が 操業開始後と同じ経路で運搬

収集運搬は、特別管理産業廃棄物収集運搬業の許可を受け、日本環境安全事業(株)から入門許可を受けた収集運搬業者が行います。

搬入経路は、操業開始後と同じ経路(国道36号と37号を經由)を使用。収集運搬車両の運行状況は、GPSシステム(位置情報を取得するシステム)を使い、安全確認します。

訓練 安全な処理体制を構築するため 訓練を実施

緊急事態を想定した対応訓練や通報訓練を行うほか、昨年10月から運転会社の作業員に対する教育訓練を、また、北九州などPCB廃棄物処理を行っている他の事業所で現地研修を行うなど、安全確実な処理体制を構築します。



施設の安全対策などを学ぶセミナー後、建設中の施設内を市民など約130人が見学(3月23日)。

《詳細》企画課環境産業推進 ☎252704